



グルモール

一生で、一番創造的な体験

校長 岡林 保幸

ガンディーは、非暴力、不服従を貫き、インド独立運動を指導した人物です。彼は自叙伝で次のような少年時代の体験を語っています。

十五歳のとき、ガンディーは兄の純金の腕輪から金を少し削り取って売ってしまいます。兄の借金を返すためでしたが、盗みをしたことでガンディーの心は深く傷付きました。二度と盗みをしないと決心し、父に打ち明けようとします。しかし、臆病だったガンディーには、口に出す勇気がありませんでした。ガンディーは手紙を書き、父に罰を与えてくれるように頼みます。手紙を読み終えた父の目から、涙が両頬を伝わってこぼれ落ちました。手紙を引き裂き、何も言わずに悲しむその時の父の姿をガンディーは終生忘れることはありませんでした。

人種差別との闘いは、1893年の南アフリカでの出来事から始まります。イギリスに留学し、弁護士の資格を取ったガンディーは、インド人の経営する会社に雇われ南アフリカに渡ります。ヨーロッパ式の服装をしていたガンディーでしたが、マリッツバーグ駅で「一生で、一番創造的な体験」をすることになります。一等列車の切符を購入し乗車していましたが、人種差別に遭い、低い等級の車両に移るように命じられたのです。移動を拒んだガンディーは警官に降ろされ、一晚駅のプラットホームで過ごしました。この体験が、ガンディーの出発点になりました。

この後、ガンディーは、人種差別との闘いを始めます。また、差別と貧困に苦しむ人々を救うために、伝染病が流行したときにはスラムに行き看護もしました。インドに帰国してからは、身分制度の最下層に置かれ、長く苦しんできた人々の地位向上のために力を尽くし、さらには非暴力、不服従の考え方の下、インドのイギリスからの独立運動の先頭に立ったのでした。

ガンディーは言います。「全ての人の目から、あらゆる涙を拭い去ることが私の願いである」「私の人生こそが、私のメッセージである」と。(私たちの道徳 中学校 「正義を重んじ公正・公平な社会を」この人に学ぶより)

今、ガンディーがアフリカ系の黒人に対して差別的だったとの批判を受け、ガーナの名門大学に設置されていたガンディーの像が撤去されたとの報道もありますが、ガンディーにとってマリッツバーグ駅での体験が、一生で一番創造的なものであり「インド独立の父」の出発点であることに変わりはないと思います。

ガンディーのような偉業を成し遂げる創造(新しいものを初めて作り出すこと)的な体験ではないかもしれませんが、子どもたちはニューデリーでの生活並びに学校での学びを通して多くのことを体験し成長しています。この二学期の学びや体験が、子どもたちの豊かな未来の創造につながることを願っております。

子どもたちにとっては、クリスマスやお正月と待ちに待った季節だと思えます。是非、ご家族の皆様と一緒に行く年を振り返り、来る年への夢や希望、新年の目標や計画について話し合う機会を持って頂きたいと存じます。よいお年をお迎えください。新年もどうぞよろしくお願いたします。





12月の主な行事を紹介します



G6 修学旅行 11月25日～27日 ～ジャイプールへ～

2泊3日の修学旅行。親元を離れて、仲間と過ごす子ども達は、常にエネルギーに笑い、歌い、みんながリーダーシップを発揮しました。

また、見学中は、事前学習の成果が出て子どもたちの学ぶ意欲は高く、訪れる先々でガイドさんの話をしっかりと聞いて質問し、メモを取っていました。バスの中では、ガイドさんにヒンディー語を教えもらい、レストランやお店屋さんで積極的に話していました。

修学旅行を終えた子どもたちは、仲間意識をさらに高め、一人一人が大きく成長しました。



アンベール城で、イスラム教とヒンドゥー教が見事に混じり合った建築を見て、とても感動しました。イスラム教の模様で飾った柱には、ヒンドゥー教の象の彫刻も施してあり、2つの宗教の特長がバランス良く合わさっていました。今は、ヒンドゥー教徒の多いジャイプールですが、当時はどれだけイスラム教徒の影響を受けていたのか実感できました。ジャイプールに行ったことで、宗教や建築、象などにも興味をもてたので、このきっかけを大切に知識を広げていきたいです。 (G6)



職員による読み聞かせ

12月5日、後期読書週間に先立って、職員による読み聞かせを行いました。児童生徒は、先生が選んだお薦めの本の紹介に関心をもち、しっかり話を聞いていました。

本校の図書室は、PTA 図書委員の皆様のおかげで、いつも整理されて借りやすい読みやすい環境が整っています。読書週間中も多くの児童生徒が図書室を利用しました。読書週間に終わらず今後も図書室を利用して継続して読書をしてほしいと思います。



先輩から学ぼう（中学部）

12月5日、第6回「先輩から学ぼう」の講演会が行われました。今回は、本校理事長松井潤様が環境問題について話されました。松井様のCSR活動として、行われているマングローブ植林は地球の環境にとっても役立っていることをさまざまな資料を使って説明されました。生徒達は、環境問題について学習しており、とても興味深く聞いていました。



ぴっかぴか掃除

12月7日、一年に一度の大掃除「ぴっかぴか清掃」が行われました。通常清掃時間にはできない箇所まで掃除をすることができました。3学期はきれいになった教室で、スタートすることができます。PTA 美化委員の皆様には事前の準備から片付けまで大変お世話になりありがとうございました。また、ご参加していただきました保護者の皆様、ありがとうございました。



教育講演会

12月18日、タイ在住の斉田様をお招きして教育講演会を開催いたしました。斉田様は、タイで日本の子ども達に向けた植林体験や異文化理解のための教育キャンプを企画するSAWANの代表者を務められております。講演の中では、斉田様自身の体験を交えた貴重なお話を聞くことができました。保護者の皆様には、お忙しい中、多数ご参加していただきありがとうございました。

後期読書週間

12月11日から14日まで、読書週間でした。お昼休みには、多くの児童生徒が本を借りに図書室へ行きました。また、図書委員会が「クラス対抗読書バトル」を実施し、各クラスの借りた冊数を競い合いました。本を一冊借りるとエントランスにある掲示板にクラスごとにシールを貼りました。



資源回収にご協力いただき ありがとうございました

12月10日から13日まで後期ボランティア委員会が前期に引き続き、資源回収を実施しました。この収益金は、学用品等を購入して近くの教会に届ける予定です。2月も計画をしていますので、ご協力よろしくお願いたします。



あいさつ運動

12月10日から14日の一週間、学級委員によるあいさつ運動が行われました。「世界のあいさつを学んでいこう」という企画で第1回目は「HOLA」でした。学校中で元気の良いあいさつが聞かれました。



委員会発表① 《図書委員会・児童生徒会》

12月17日の児童生徒朝会で、児童生徒会と図書委員会がそれぞれの活動について発表をしました。

図書委員会は、後期読書週間に図書室で貸出した冊数(1150冊)の報告と多読クラスの表彰(1位G1-2)をしました。

児童生徒会は、全校レクリエーションのねらいを説明しました。その後、全校レクリエーションを開始しました。



全校レクリエーション グループランチ

12月17日、児童生徒会による第2回目の全校レクリエーションとグループランチが行われました。

全校レクリエーションでは、くじ引きで決めた縦割り班で、「並び替えゲーム」や「フラフープくぐりゲーム」などをしました。

また、さらに仲良くなるために、グループランチをしました。一緒にお弁当を食べた後、グループごとに「だるまさんが転んだ」や「カードゲーム」などをしました。

学年の壁を越えて、さらに仲の良いニューデリー日本人学校になりました。



12月の主な出来事

- 3日(月) 学校朝会 カンカン先生 ギター演奏
- 4日(火) PTA 運営委員会
- 5日(水) 中学部 先輩から学ぼう
(講師 日本人学校理事長 松井 潤 様)
- 7日(金) ぴっかぴか掃除
- 10日(月) 後期読書週間 (~14日)
- 11日(火) 個人懇談 (~14日)
- 17日(月) 児童生徒朝会 (委員会発表)
- 18日(火) 教育講演会 (講師 SAWAN 斉田 様)
- 20日(木) 6年夢プロジェクト
(講師 附属幼稚園 徳丸 絵美 教諭)
- 21日(金) 2学期終業式

1月の主な予定

- 9日(水) 3学期始業式
- 14日(月) フリー参観ウィーク (~18日)
- 29日(火) 小学部入学説明会

12・1・2月の学校施設開放停止のお知らせ

インドの祝日、学校行事準備、学校行事で、学校施設の開放を行っておりません。ご理解の程よろしくお願いいたします。

- 12月25日(火) Christmas
- 12月29日(土) ~1月3日(木)
年末年始休業日
- 1月26日(土) Republic Day
- 2月 2日(土) 学習発表会準備
- 3日(日) 学習発表会

12月の転出入

転入 0名	転出 5名
	梶田 真央 (小6)
	佐久間 日向 (小5)
	降井 理紗子 (小4)
	大野 薫子 (小4)
	大野 真平 (小1)
12月21日現在の児童生徒数 計263名	